

平成 16 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

上場会社名 電気化学工業株式会社（コード番号：4061 東証第 1 部）
 （URL <http://www.denka.co.jp>）

代表者 役職名：代表取締役社長 氏名：晝間 敏男
 問合せ先責任者 役職名：取締役経理部長 氏名：南井 宏二 TEL(03)3507-5123

1. 四半期業績の概況の作成に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度：無
 における認識の方法との相違の有無

2. 平成 16 年 3 月期第 1 四半期業績の概況（平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 6 月 30 日）

（注）金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(1) 売上高

	百万円	%
16 年 3 月期第 1 四半期	57,720	
15 年 3 月期第 1 四半期		
（参考）15 年 3 月期	243,824	

（注）当該四半期より四半期業績の開示を行っているため、前年同四半期実績及び増減率につきましては記載しておりません。

セグメント別連結売上高

	16 年 3 月期 第 1 四半期	（参考） 15 年 3 月期
	百万円	百万円
石油化学事業	18,622	72,338
機能製品事業	23,960	97,684
セメント・建材事業	7,122	31,576
医薬事業	2,013	15,022
その他事業	6,001	27,202
全社計	57,720	243,824

[売上高に関する補足説明]

石油化学事業では、国内需要は総じて堅調に推移いたしましたものの、SARS（重症急性呼吸器症候群）の流行に伴いスチレンモノマーや機能性樹脂などの輸出数量が中国向けを中心に一時的に減少し、市況も下落いたしました。

機能製品事業では、電子・機能材料がIT関連需要の回復などにより好調に推移し、また、樹脂加工製品では半導体固定粘着用“エレグリップテープ”や昨秋生産能力が増加したOPS（二軸延伸ポリスチレンシート）は順調に販売数量を伸ばしましたが、食品成形容器や雨どいなどの建材製品は需要が低迷しております。

セメント・建材事業では、総じて低調に推移しております。

医薬事業では、関節機能改善剤“スベニール”は、増設工事に伴って計画どおり当第 1 四半期は生産を休止いたしました。デンカ生研株式会社の売上もツベルクリンの販売中止などにより減少いたしました。ほぼ計画どおりに推移しております。

この結果、当第 1 四半期の連結売上高は 577 億 20 百万円となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当する事象は、発生しておりません。

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

中間期及び通期の業績予想につきましては、概ね計画通りに推移しており、連結・個別とも、平成 15 年 5 月 1 日発表の業績予想から修正しておりません。